

# モニタリング結果報告書 (2018年度)

## 1. 施設概要

施設名	厚木精華園		
所在地	厚木市上荻野 4 8 3 5 - 1		
サイトURL	<a href="https://atsugi.kyoudoukai.jp/">https://atsugi.kyoudoukai.jp/</a>		
根拠条例	神奈川県立の障害者支援施設に関する条例		
設置目的(設置時期)	障害者総合支援法第5条11項に規定する障害者支援施設		
指定管理者名	社会福祉法人かながわ共同会		
指定期間	H28. 4. 1～R8. 3. 31 (2016年) (2026年)	施設所管課 (事務所)	障害サービス課

## 2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応	
<p>利用状況はB評価、利用者の満足度及び収支状況はS評価となったため、3項目評価はA評価となった。</p> <p>今後の方針としては、引き続き高齢知的障害者支援のノウハウの普及啓発、施設入所利用者のグループホーム等への地域移行を積極的に進めてもらい、県立福祉施設としての役割を担ってほしい。</p> <p>&lt;各項目の詳細説明&gt;</p> <p><b>【管理運営等の状況】</b> 毎月開催している高齢者支援セミナーには延べ87施設、305名が参加した。高齢知的障害者への支援のノウハウを民間事業者へ計画的に発信した。</p> <p><b>【利用状況】</b> 施設入所、生活介護、短期入所の利用充実を図り、計画的に利用者を受け入れることにより、利用者数は安定した数値となっている。利用状況の対前年度比が99.0%となったためB評価となった。</p> <p><b>【利用者の満足度】</b> 重度の知的障害のため、4段階評価による評価は困難であることから利用者家族を対象に満足度調査を実施。上位2段階の回答割合が99.0%となったため、S評価となった。 回収率は73.0%と昨年度より5.6%減であり、引き続き、回収率向上に向け、取り組む。</p> <p><b>【収支状況】</b> 収入は職員配置加算が維持できたこと及び短期入所の安定した利用があったことで増収となった。また、収支差額は当初予算比プラス2810.89%となり、S評価となった。</p> <p><b>【苦情・要望等】</b> 寄せられた苦情に対して、速やかに事実確認等を行い、ご意見をいただいた方に丁寧な対応をするとともに、改善策を検討し取り組んだ。</p> <p><b>【事故・不祥事等】</b> 利用者の高齢化に伴い、骨折や怪我のリスクが高まっている。生活環境を毎月点検し、事故の未然防止に努めている。</p> <p><b>【労働環境の確保に係る取組状況】</b> 県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。</p>	
3項目評価	<p>S : 極めて良好 A : 良好 B : 一部改善が必要 C : 抜本的な改善が必要</p> <p>※3項目評価とは、3つの項目（利用状況、利用者の満足度、収支状況）の評価結果をもとに行う評価をいう</p>
A	

### 3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	適宜	
随時モニタリングにおける指 導・改善勧告等の有無	有・ <b>無</b>	指導・改善勧告等の内容

### 4. 管理運営等の状況

[ 指定管理業務 ]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
施設支援機能の充実のために	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予算執行管理に努め、備品の更新、改修工事、防犯対策等の環境整備を実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エアコン・消防設備等修理・屋上転落防止柵等を実施。</li> </ul>
利用者の充実を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護技術研修を2回、「おむつのあて方」を実施。</li> <li>・医療的ケアに継続的に取り組み、職員4名が認定書を取得した。</li> <li>・園内余暇の充実として福祉ネイル、衣類の訪問販売を定期的実施しコンビニの訪問販売を毎月実施。</li> <li>・食生活充実のために栄養ケアマネジメントを継続実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園内研修8講座25回を実施した。</li> <li>・医療的ケアについては、年度途中にも追加研修等を実施し年間を通して取り組んだ。</li> <li>・利用者支援充実のために余暇・栄養ケアマネジメントに取り組んだ。</li> </ul>
権利擁護、虐待防止への取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権委員会、利用者自治会、虐待防止委員会、オンブズマン相談会を毎月実施。</li> <li>・家族向けアンケート、職員の自己チェックリスト、来園者向け簡易アンケートを実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権目標の設定、虐待防止のための各課の振り返りに取り組んだ。</li> <li>・利用者満足度調査に取り組んだ。</li> </ul>
地域社会と豊かな交流を持つために	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域貢献を目的に各事業を積極的に実施した。</li> <li>・地元自治会、行政等関係機関と連携し荻野地区の防災体制構築に向けて取り組む。</li> <li>・応急手当普及員を8回派遣した。</li> <li>・地域コンサートを2回開催し、95人が参加した。</li> <li>・近隣の荻小学校3年生との交流 小学生70名、教員3名の参加。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各関係機関と協力して地域との積極的な連携に取り組んだ。</li> <li>・地域コンサート開催や応急手当普及員の派遣に取り組んだ。</li> </ul>
着実な施設運営のために	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者支援セミナーを毎月開催し延87施設、305名が参加。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間を通して、計画的に取り組んだ。</li> </ul>

[ 参考：自主事業 ]

事業計画の主な内容	実施状況等

## 5. 利用状況

評価	《評価の目安》 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。 社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）があれば記載してください。
B	

	前々年度	前年度	2018年度
利用者数※	38,959	38,699	38,327
対前年度比		99.3%	99.0%
目標値	110	110	110
目標達成率			

目標値の設定根拠： 社会福祉入所施設であり、目標値の設定が困難であるため、入所定員を記載

利用者数の算出方法（対象）： 施設入所者の延べ人数

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

## 6. 利用者の満足度

評価	《評価の目安》 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う
S	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	簡易調査、定期調査	利用者家族を対象に満足度調査を実施。面会に来られない方へは調査票を郵送し、回答を依頼する。概ね満足との集計結果であった。

[ サービス内容の総合的評価 ]

質問内容 厚木精華園の運営体制・支援体制に満足していますか。

実施した調査の配布方法 紙面にて配布・郵送 回収数/配布数 108 / 148 = 73.0%

配布(サンプル)対象

	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	92	7	1	0	100	
回答率	92.0%	7.0%	1.0%	0.0%		
前年度の回答数	94	13	1	0	108	
前年度回答率	87.0%	12.0%	0.9%			
回答率の対前年度比	105.7%	58.2%	108.0%			

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

## 7. 収支状況

評価	《評価の目安》 収支差額の当初予算額：プラスの施設が該当 収支差額の決算額/収支差額の当初予算額の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
S	

[ 指定管理業務 ]

(単位：千円)

		収入の状況				収入合計	支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳			収支差額	収支差額の決算額 /収支差額の当初 予算額
前々年度	当初予算	188,532	601,144	9,308		798,984	797,178	1,806	
	決算	188,532	620,069	9,374		817,975	788,312	29,663	1642.47%
前年度	当初予算	205,931	613,602	7,188	備考欄参照	826,721	825,734	987	
	決算	199,163	613,727	9,074	備考欄参照	821,964	796,326	25,638	2597.57%
2018年度	当初予算	205,931	607,097	9,349	備考欄参照	822,377	820,954	1,423	
	決算	203,746	636,388	17,316	備考欄参照	857,450	817,451	39,999	2810.89%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位：千円)

2018年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

○2018年度

当初予算

- ・ 経常経費寄付金収入 180千円
- ・ その他収入 7,964千円
- ・ 法人繰入金 1,205千円
- ・ 退職給付引当資産取崩収入 0千円

決算

- ・ 経常経費寄付金収入 1,783千円
- ・ その他の収入 11,025千円
- ・ 法人繰入金 1,204千円
- ・ 退職給付引当資産取崩収入 3,304千円

○2017年度

当初予算

- ・ 経常経費寄付金収入 180千円
- ・ その他収入 7,008千円

決算

- ・ 経常経費寄付金収入 355千円
- ・ その他収入 8,719千円

8. 苦情・要望等  該当なし

分野	報告件数	概要	対応状況
施設・設備		件	
		件	
職員対応		件	
		件	
事業内容		件	
		件	
その他	電話	1 件	・近隣3車線道路を走行中、当園公用車がウインカーをつけず、車線変更し後方車が急ブレーキを踏むこととなった。後方者のドライブレコーダーに証拠有り。 事実確認を行い、運転員に対して指導した。
	面談	1 件	・利用者ご家族より緊急時の対応についての苦情が寄せられた。 緊急時の対応について、初動が遅かったことについて謝罪をし、面会を繰り返しながら丁寧な対応を継続中。

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等  該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
12月19日	①21:00生活3課トイレにて転倒しているのを発見。 ②電話による速報後、事故報告書により、内容を確認する。 ③翌日、園内内科受診後・神奈川リハビリ病院受診。左後頭部硬膜外出血・脳挫傷・頭蓋骨骨折で入院。退院後、定期通院にて回復傾向。 ④事故直後の対応に対して、施設に苦情あり。緊急時の対応について、初動が遅かったことについて謝罪をし、面会を繰り返しながら丁寧な対応を継続中。 ⑤不明、入院・治療費は施設負担。 ⑥無
1月22日	①前夜より発熱、朝食時にバイタル低下により救急搬送。翌日、肺炎・老衰により死亡。 ②電話による速報後、事故報告書により、内容を確認する。 ③右肺炎にて入院されるが、急変により死亡。 ④無 ⑤高齢による疾患のため、医療との連携を強化する。 ⑥無
1月28日	①寮入口の自動ドアに歩行器ごとぶつかり転倒。 ②電話による速報後、事故報告書により、内容を確認する。 ③胸の痛みがあり、医療機関へ受診。あばら骨3本の骨折。 ④無 ⑤費用負担なし。単独での歩行器使用にて自動ドアの段差につまずいた。歩行器の使用は職員が付き添えるように徹底する。 ⑥無

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

## 10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。